



事業実績報告書

様式 2
(2021年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-13	講座名	むささびっ子の森くらぶ
記載日	2021/10/1	団体名・企業名	よりあい工房ばんどり
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>森のようちえんでは、森でのロープ渡りや崖登りに挑戦しました。季節に合わせて雨の生き物探しをしたり、川遊びをしたり、木の実を使って工作などをしました。初めて森に入る親子も多く、子どもにとっては貴重な原体験の場となりました。</p> <p>プレ森のようちえんでは、小さな子どもたちとお母さん、お父さんが一緒に自然で過ごし、広い原っぱでかけっこしたり、ゆっくりとした時間を楽しみました。</p>			
			
※写真 1 の説明		※写真 2 の説明	
<p>6/13海上の森センター 毎回ロープ渡りに挑戦して、だんだん上手になっていく。ちょっとした成長が見える。</p>		<p>9/26海上の森センター 森でひろったどんぐりや木の枝で自由に作品づくり</p>	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>感染対策、人数を制限して、コロナ禍でもこじんまりと活動を続けた。途中、緊急事態宣言が発令されたり、雨の日も多く、参加してもらうのに苦労したが、どの回も参加希望が多く、子どもとその家族たちが森や人とふれあう活動を渴望していると感じた。少しでも心が開放できたのなら嬉しいと思う。</p> <p>結果的に参加者数は伸ばせなかったが、小さい子どもの時代から自然に触れ、森に親しみを持ってもらうこと。また、その家族も森や自然に関心を持ってもらうことなど、当初の目的は達成できたと思う。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)			
<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの方がとても子供に接するのが上手だった。機嫌が悪くなくても安心だった。 ・これまで何度か参加してきましたが、今日は森の匂いを感じたことを話したり、生き物と接する様子だったり、自分から進んで楽しんでいると感じました。自然が身近なものになっていってもらえたら嬉しいなと思います。 ・森の危険なところ、どこに何がいるのかをくわしく教えてもらえて楽しかったです。 ・雨天の中でも子どもたちが楽しめる内容でした。 			